

別所地区
市政懇談会資料
(書面回答)

地区からの意見・提言(書面回答)

別所地区

	意見・提言の内容	書面回答
1	カネマス自動車駐車場から湯庵北側にかけての排水路工事について	道路河川課
2	別所町公民館のエレベーター設置の進捗状況について	生涯学習課
3	市内の水道設備の耐震化、橋の耐震化について	水道工務課 道路河川課
4	地域猫への補助金について	生活安全課

市政懇談会 書面回答

地区名	別所地区	
意見・提言等	1	カネマス自動車駐車場から湯庵北側にかけての排水路工事について（西這田北）
<p>（内容）東側の排水路工事は完了したが、上記の西側の工事が未着手である。</p> <p>検討されていると思うが、進捗状況についてお聞きしたい。</p> <p>早期実現を強く要望する。</p>		
回 答	（担当課）都市整備部 道路河川課	
<p>当該箇所の排水路については、公民館横の水路及びカネマス自動車前の水路が設置されたことで、一定の整備は完了したものと考えております。ご指摘の箇所は、当該排水路の最上流に位置し、排水路の起点となるため、排水を必要とする水量は少なく、また、令和5年度の工事にて埋まっていたL型側溝の清掃を行ったことで道路の路面排水については既存施設にて処理できている状況にあると考えます。今後、状況を注視していく中で、必要があれば、水路について検討していきますのでご理解よろしく申し上げます。</p>		

市政懇談会 書面回答

地区名	別所地区	
意見・提言等	2	別所町公民館へのエレベーターの設置の進捗状況について（西這田北）
<p>(内容)</p> <p>別所町公民館へのエレベーターの設置については、従来から要望しているものだが、昨年度の市政懇談会で「5年後に計画している」との回答があった。</p> <p>市内全体の設置状況を考え、また別所地区の活動を支えるという意味では、優先順位はもっと前に来るべきものではないかと考えるが、進捗状況についてお聞きしたい。早期の設置を要望したい。</p>		
回 答	(担当課) 教育総務部 生涯学習課	
<p>公共施設の長寿命化改修工事については、市内の全公共施設を対象に、施設の老朽度や傷み具合などを考慮し、事業実施計画を立て優先順位を決めており、別所町公民館は令和10年度から設計、11年度から施工工事を実施する予定です。その際に合わせてエレベーターの設置工事を行う計画となっています。</p> <p>実施計画は予定通りで進めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。</p>		

市政懇談会 書面回答

地区名	別所地区	
意見・提言等	3	市内の水道設備の耐震化、橋の耐震化について（区長協議会）
<p>(内容)</p> <p>三木市は水道設備の耐震化率が、県内でも下位にあるとの新聞報道があったが、耐震化の現状と今後の予定についてお聞きしたい。</p> <p>また、橋の耐震化についてもお聞きしたい。</p>		
回 答	(担当課) 上下水道部 水道工務課 都市整備部 道路河川課	
<p>■水道施設の耐震化について</p> <p>本市の水道施設の耐震化につきましては、まず市民のみなさまにお届けする水を確保することが必要であるとの考えから、貯水源である配水池の耐震化を優先的に進めております。また、管路につきましても報道にあった基幹管路だけでなく、水道本管全体で耐震化を進めているところです。</p> <p>【水道本管の耐震化】</p> <p>本市の令和5年度の水道本管の延長約626kmに対し、耐震化の延長は約201kmで、耐震化率は31.6%となっています。</p> <p>《参考》 令和4年度の全 国の耐震化率：36.2% 令和4年度の兵庫県の耐震化率：30.3% 令和5年度の三木市の耐震化率：31.6%</p> <p>【新聞報道のあった水道本管のうち基幹管路の耐震化】</p> <p>基幹管路とは・・・水源から浄水池への導水管・浄水池から配水池への送水管・配水池間の配水幹線のこと。</p> <p>本市の基幹管路：延長約86kmで、水道本管約626kmの内数</p> <p>《参考》 令和4年度の全 国の耐震化率：42.3% 令和4年度の兵庫県の耐震化率：48.7% 令和5年度の三木市の耐震化率：32.0%</p>		

【配水池等の耐震化】

次に、配水池の箇所数30箇所（容量：35,552 m³）に対し、耐震性能を有する配水池は20箇所（容量：33,729 m³）で、耐震化率（容量比）は94.9%となっています。

なお、現在自由が丘配水池の改修工事において耐震化を進めており、令和7年度中には本市の配水池の耐震化は97.2%まで進む予定です。

《参考》 令和4年度の全 国の耐震化率：63.5%

令和4年度の兵庫県耐震化率：68.7%

令和5年度の三木市の耐震化率：94.9%

【耐震化の今後の予定】

現在、本市では漏水等で市民生活に直結する給水の被害を軽減すべく、水道本管の耐震化を主に取り組んでおり、水道本管及び配水池等を含めた水道施設の更新・耐震化を事業費の平準化を図りつつ、水道本管延長の1%～1.5%程度を年間目標に進めているところです。

一方、近年の資材価格や人件費の高騰などにより、目標達成が難しい状況となっています。

今後は、水道会計における収入と、更新・耐震化の費用を含む支出とのバランスを考慮しながら、適切に水道施設の更新・耐震化を進めていくこととします。

■橋の耐震化について

市道における橋梁の耐震化については、国から緊急輸送道路の耐震補強が求められており、三木市においては、上津橋が該当します。上津橋については、平成29年度に耐震補強工事を完了しております。

三木市の橋梁については、三木市橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕補修に取り組んでおり、耐震化については、現在、上津橋以外の予定はありません。しかしながら、南海トラフ地震等も懸念されており、今後、国・県・他市の動向にも注視しながらその計画の中で検討していきます。

市政懇談会 書面回答

地区名	別所地区	
意見・提言等	4	地域猫への補助金について（西這田北）
<p>(内容)</p> <p>猫を飼うには飼い主に責任がある。 えさをあげるが飼えないので、地域猫にするという考え方は、不用意に猫を増やすことになるのではないか。 増えたので、補助金を使って避妊、去勢をするというのがそれでいいのだろうか。 2024年度、75万円の補助金予算を組んでおり、足りないので補正予算を検討するということだが、三木市の予算の使い方を十分検討し、必要などころは他にもたくさんあるので、充分精査してほしい。</p>		
回答	(担当課) 市民生活部 生活安全課	
<p>地域猫活動とは、地域住民の理解のもと、飼い主のいない猫をルールに基づいて、餌やりやトイレの管理などを行い、飼い主のいない猫の数を増やさず、一代限りの生を全うさせる活動です。 この活動を支援することで、良好な生活環境を保全していくことを目的としています。 このため、地域猫活動として市が助成するための要件は、「給餌、給水、排せつ物の処理その他猫の適正管理に必要な措置を講じ」「地域猫活動を実施する地域の自治会その他地域住民の理解を得ること」としています。 また、「飼い主のいない猫」であることが必須条件です。 誰の猫か判然としない猫に、なんとなく餌をあげ続けてしまうと、食べ残しや糞などによる生活環境の悪化が生じることがあります。 そういった状況を改善できるよう、猫に餌をあげる方々には、「衛生環境の維持」と「不幸な猫の削減」という目標を持ち、管理する意識と、周囲から理解されるルールをもって活動していただくことが重要と考えています。 平成24年以降の動物愛護法の改正により、猫の所有者に対しては、屋内飼養に努めることや、屋内飼養しない場合は繁殖制限措置を講じることが求められる一方、行政による猫の安易な引き取りができなくなり、飼い主のいない猫の増加が大きな問題となってきました。</p>		

そこで、動物愛護の観点から地域猫活動を支援しつつ、近隣市民の生活環境と公衆衛生の向上を図ることを目的とした本事業を開始したもので、事業開始当初は特に、繁殖抑止効果を高めるため、一気に取り組む必要があることから、今回の補正を行うものです。

こういった総合的な取組に、市民の皆さんと市がしっかりと向き合い、意識を向上させていくことで、「不幸な猫を減らしながら、良質な生活環境を保全していく」目標にたどり着けるものと考えております。